

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（８７１））
2. 日 時：平成３０年４月１６日 １７時５０分～１７時５５分
3. 場 所：原子力規制庁 ８階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

穂藤安全審査官、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 主任

5. 要旨

- （１）日本原子力発電株式会社から、平成２６年５月２０日に申請、平成２９年１月２４日及び平成３０年２月１３日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- （２）原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- （３）日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-1【応力解析における既工認と今回工認の解析モデル及び手法の比較】
- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-2【応力解析におけるモデル化、境界条件及び拘束条件の考え方】
- ・建物・構築物の耐震計算についての補足説明資料 補足-370-4【地震荷重の入力方法】
- ・残留熱除去系海水系ポンプの強度計算書
- ・ほう酸水注入ポンプの強度計算書
- ・クラス１弁の強度計算書の説明分類
- ・クラス３容器の強度計算書の説明分類
- ・重大事故等クラス２容器の強度計算書の説明分類
- ・重大事故等クラス３容器の強度計算書の説明分類
- ・竜巻への配慮が必要な施設の強度に関する説明書



- ・ 工事計画に係る補足説明資料 補足-70-1【竜巻への配慮に関する説明書】